



B.LEAGUE



TOPIX

プロバスケットボールクラブ 越谷アルファーズ

B.LEAGUE に加盟し、B2 参戦 2 年目となる「越谷アルファーズ」。その運営法人・株式会社フープインザフードの代表取締役 浅井英明氏から、チームの紹介や見どころ、今後の抱負などを伺いました。

武蔵野銀行は、本年 9 月より、同クラブのオフィシャルパートナーとなりました。

— はじめに、越谷アルファーズの B.LEAGUE での試合予定などを教えてください。

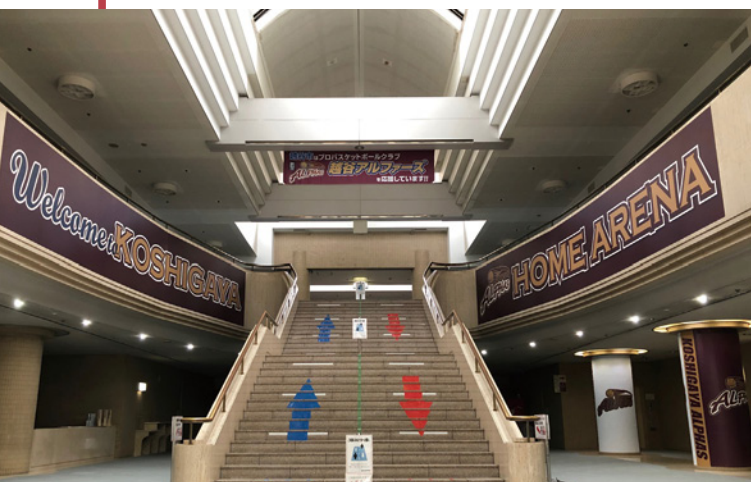
越谷アルファーズは、B.LEAGUE の B2 東地区に所属しています。東地区には、強豪の群馬、仙台をはじめ、青森、山形、福島、茨城、東京が所属しています。また、西地区との交流戦もあって、関西、四国、九州などにも遠征します。「越谷」を冠した当チームが、日本全国で試合をする訳です。

レギュラーシーズンは 10 月から翌年 4 月までで、基本的に毎週金曜・土曜ないし土曜・日曜と一部水曜日に、計 60 試合が行われます。5 月の B1 昇格を懸けた B2 プレーオフ、入替戦をもってシーズンが終了します。

— 越谷アルファーズの試合を見る方法は？

まずは、年間 30 試合、ホームアリーナの越谷市立総合体育館で試合がありますので、生の迫力をご覧頂きたいと思います。越谷市の協力のもと、アルファーズ・チームカラーのバーガンディーの装飾が年々充実してきました。

また、ネット中継の「バスケット LIVE」でも、全試合が見れます。ソフトバンクスマホ・ワイモバ



越谷市立総合体育館エントランスフロア

イルスマホ、Yahoo! プレミアム会員は無料で見放題です。

—— 注目の選手や見どころを教えてください。

中心選手と言えば、2020 東京五輪 3 人制バスケットボール日本代表候補の落合知也（#91）です。加えて、今年は大規模補強を行いました。中でも、高校・大学日本一を経験した強いリーダーシップの畠山俊樹（#0）、埼玉県出身のバスケット界期待の星・モネール百音アレックス（#9）の新戦力に注目しています。

このチームは、ベンチの盛り上がり面白いと評判です。得点シーンでの派手なアクションも楽しんでほしいと思います。

—— チームと越谷市とのご縁についてお聞かせください。

このチームは、もともと（株）大塚商会のクラブチームでしたが、本拠地とするアリーナの確保に苦労していました。そこに手を差し伸べて下さったのが、越谷市でした。

2017 年には、越谷市とホームタウン提携し、18 年に名称を「越谷アルファーズ」に変更してプロクラブ化、2019-20 シーズンから B2 への昇格を果たしました。現在も、大塚商会の社員選手が 6 名いま



株式会社フープインザフッド
代表取締役 浅井英明 氏

すが、平日仕事でフル稼働しながらプレーを続ける姿に感銘を受けています。

—— B.LEAGUE におけるホームタウン提携の意味合いは、どんなことでしょうか？

「フランチャイズ」と言うと、「本拠地占有権」、「興業権」の意味合いが強いですが、それとは異なり、「ホームタウン」には、クラブと地域社会が一体となって実現する、地域の人々が心身の健康と生活の楽しみを体感することができる町を意味しています。

市からは、ホームゲームにおける越谷市立総合体育館の優先利用等のバックアップを頂いたほか、市内各所にチームの看板や装飾を施して頂いています。当クラブでは、地元名産品の全国各地への発信や、バスケット教室の実施、地域イベントへの選手の派遣、小中学生のホームゲームへの招待などを行っています。

子どもたちの育成に努めることで、将来、当チームに越谷出身の選手が誕生することを願っています。

—— 最後に、将来の抱負についてお聞かせください。

目標は B.LEAGUE B1 への昇格です。チームのファンも俄然増えると期待されます。B1 の試合では、4～5 千人の入場者が見込まれますので、経済効果も格段に高まります。

さらなる夢は、新たなアリーナの建設です。各種スポーツの大会誘致や、アーティストのライブ、eSports の開催、企業フェア・コンベンションの開催など、アリーナを活用することで、市外から多くの人を集めることができます。人が集まれば、市内交通機関の活性化や宿泊・飲食施設の増加に繋がるほか、保育園・幼稚園や病院・クリニックの誘致などの可能性も広がります。

越谷への恩返しの気持ちを込めて、越谷市の知名度向上、豊かな市民生活の実現に向けて、精一杯頑張りたいと思っています。

（聞き手：ぶぎん地域経済研究所 土田 浩）

※チケットは、越谷アルファーズのホームページから購入できます。
<https://www.koshigaya-alphas.com/>

